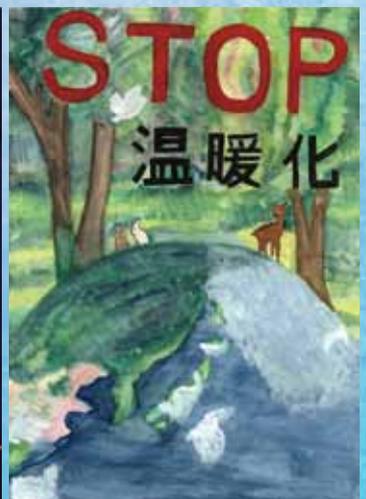
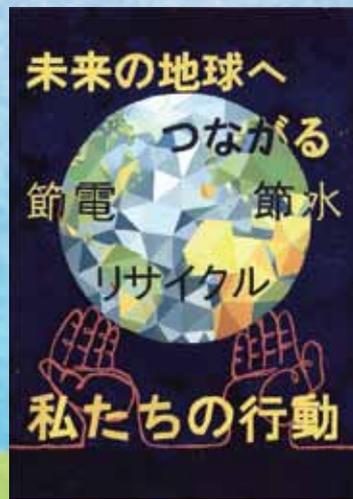
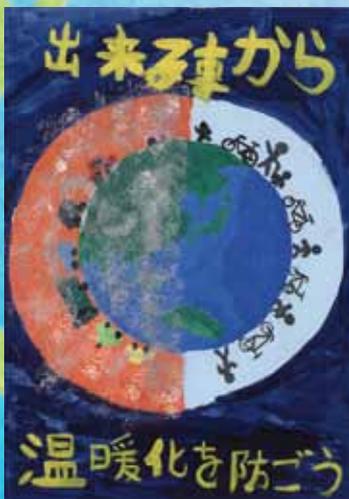
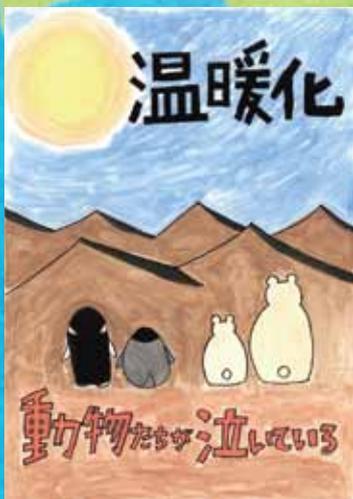
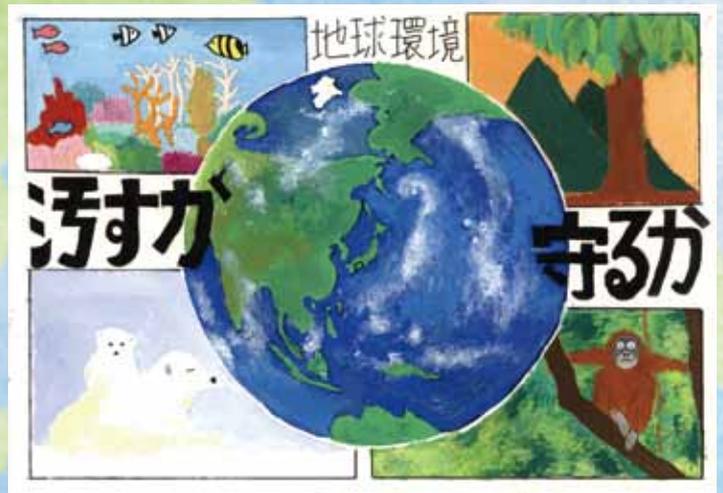


しまささい



令和4年度「三重県地球温暖化防止啓発ポスターコンクール」
入賞作品

すすむ気候変動 かわる暮らし

三重県の気候

● 三重県の夏の気温

三重県における夏(6月～8月)の平均気温は上昇しています。

津の夏の平均気温は、100年あたり1.5℃上昇しています。年間を通しての、日最高気温が30℃以上の真夏日は、100年あたり14.7日増加しています。

同様に、尾鷲の夏の平均気温は、50年あたり1.0℃上昇しています。年間を通しての、日最高気温が30℃以上の真夏日は、50年あたり14.9日増加しています。

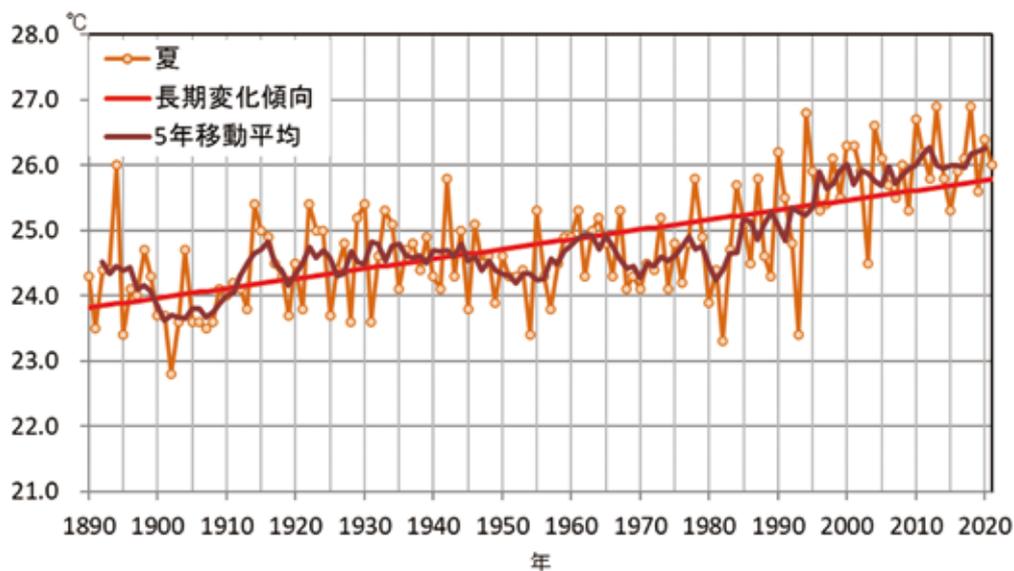
(グラフ・データ出典:津地方気象台)

過去からの気温上昇幅

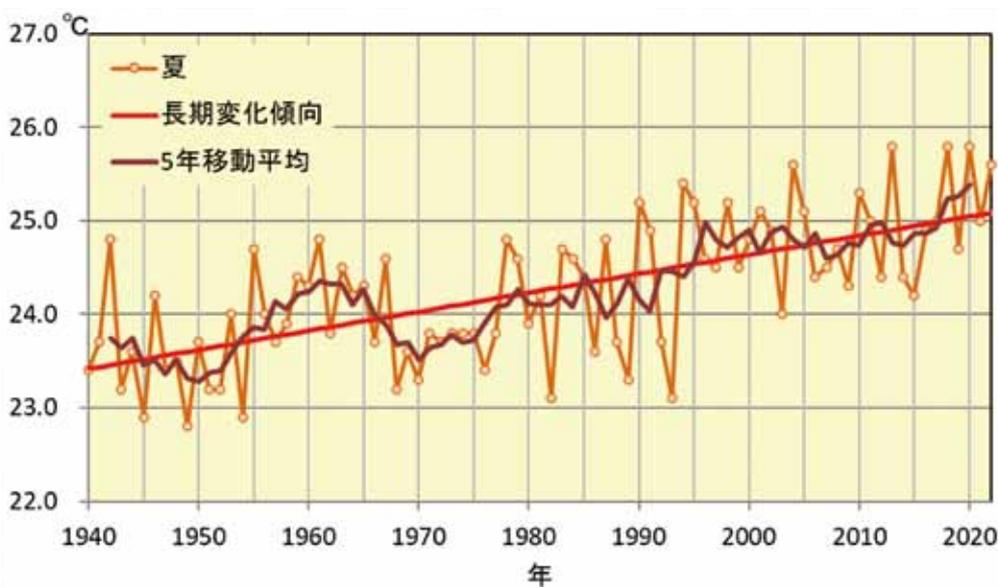
	津	尾鷲
春(3～5月)	2.0℃	1.5℃
夏(6～8月)	1.5℃	1.0℃
秋(9～11月)	2.0℃	1.2℃
冬(12～2月)	1.6℃	1.1℃

津は100年あたり、尾鷲は50年あたりの上昇幅

【津】年平均気温(夏) 1890-2022



【尾鷲】年平均気温(夏) 1940-2022



適応法改正

～気候変動適応法が改正されました～

熱中症予防を強化する仕組みと措置に関して

近年、国内の熱中症による死亡者数は年間1,000人を超えるなど増加しています。

三重県でも、熱中症による死亡者数、救急搬送者数は増加しています。

さらに、今後、地球温暖化が進めば極端な高温発生リスクも増加することが見込まれます。熱中症予防の必要性が未だ国民に十分に浸透していない中で、より積極的な対策を進める必要性について、検討されてきました。

こうした背景を踏まえて、2023年5月、気候変動適応法が改正されました。

この法改正により、これまで環境省と気象庁とで発信していた「熱中症警戒アラート」が「熱中症警戒

情報」として法に位置づけられました。

さらに、より深刻な健康被害が発生し得る場合に備えて、警戒情報より一段上の「熱中症特別警戒情報」が新たに創設されました。(※)

これに伴い、今後、公民館や図書館、ショッピングセンターなど、冷房設備を有するなどの要件を満たす施設を指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)として市町村長が指定できるようになりました。特別警戒情報の発表期間中には、これらの施設が一般に開放されることとなります。

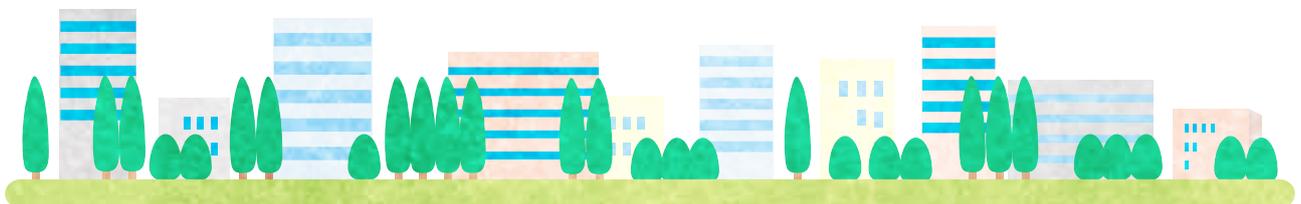
※熱中症特別警戒情報等の全面施行は令和6年春頃予定されています。

これまでの熱中症予防対策としての情報発信



変更

改正された気候変動適応法では



暑くてもよく育っておいしいお米の開発

近年、夏の暑さが厳しくなる中、三重県で作られるお米の一等米(外観がきれいなお米)比率は、全国平均に比べ、低く推移しています。

三重県では、お米の栽培面積のうち「コシヒカリ」が7割を占めています。

コシヒカリは、1956年(昭和31年)に福井県で育成(品種改良)された品種です。この当時、夏季の高温を意識した育種は行われていませんでした。



高温登熟性試験 温室内の高い気温での稲の生育を確認する

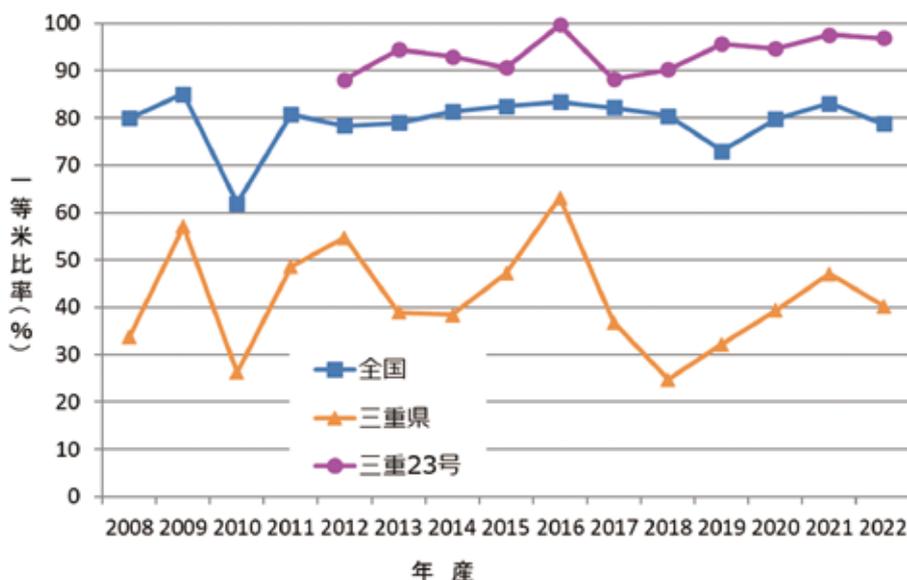
津市の8月の平均気温は、1956年には25.8℃でしたが、2022年には28.2℃に達しています。

夏の厳しい暑さの中でも良いお米がとれるよう、三重県農業研究所では、新しいお米の育成に取り組んでいます。その際、留意しているのが、夏季の高温下でもしっかりと実り一等米となるような性質(高温登熟性)です。

三重県農業研究所が育成した、高温登熟性に優れた品種の代表例が「三重23号」です。三重23号は「結びの神」のブランド名で、スーパーや小売店で幅広く売られています。噛むともちりとした食感で食味が良く、冷めてもおいしいお米です。作付け面積も次第に増えつつあります。

現在よりずっと夏の気温が低かった時代に育成されたコシヒカリと、夏の暑さを意識して育成された三重23号、二つの品種の違いが、三重県産のすべての米と、三重23号だけを比べた際の一等米比率の違いとして現れています。

一等米の比率の経年変化のグラフ(全国・三重県・三重23号)



推進員の 活動紹介



江藤推進員

「推進員へ一問一答」

推進員 / 江藤 優陽

三重県地球温暖化防止活動推進員の活動の紹介

2023年4月現在、三重県により委嘱されている「三重県地球温暖化防止活動推進員」は80名います。その中で、最も若手、現役大学生の江藤推進員に日頃の活動や思いなど、一問一答しました。

江藤推進員は、大学の熱気球サークルの代表で、

鈴鹿市の熱気球の祭典「鈴鹿バルーンフェスティバル」の実行委員長も務めています。

※地球温暖化防止活動推進員とは、地球温暖化対策の推進に関する法律第三十七条の定めにより、知事が委嘱するものです。



1. 推進員になった動機は？

鈴鹿市を中心に推進員をしている江藤優陽です。私は小学生の頃からボランティア活動が好きで、学校に学習支援ボランティアで来ていただいていた落合文記推進員にお誘いを頂き、2018年6月頃から活動をしてきました。当時は18歳未満だったので「推進員」として活動が出来ず「協力員」という形で活動をしていました。18歳を迎え、2021年4月より地球温暖化防止活動推進員として現在も活動をしています。

2. 現在、どのような活動を行っているの？

推進員になって活動していこうと思ったのですが、コロナウイルスの影響でイベントは全て中止となり活動する機会はほとんどありませんでした。2022年後半にやっとイベントが少しずつ開催され、活動を再開することができました。現在は、鈴鹿市の推進員さんと一緒に県内各地のイベントに出展しています。ぶんぶんゴマなど牛乳パックを使ったりリサイクル工作、どんぐりや松ぼっくりなど自然素材を使った木工クラフトなど子どもたちを中心に体験してもらえる内容で出展をしています。今まで活動が中止になってきた分、今後は各地でイベントが再開されてたくさん活動していけると良いと思います。



3. 得意分野は? (出前講座やイベントで)

私の得意分野は子どもと関わることです。私たちの出展は子どもを中心に体験してもらう内容となっているので子どもと関わる機会はとても多いです。子どもたちにぶんぶんゴマの回し方を教える、工作のアドバイスをするなど、子ども1人1人が工作をして楽しかったと思って帰れるように心がけています。

4. 推進員の活動をして得られたこと、良かったことは?

私はまだ21歳で大学に通っています。大学では臨床心理学を学んでいます。心理学は子どもに関する内容も多く、推進員活動の経験からより深く心理学の知識を習得することができます。将来も子どもに関わる仕事に就くことが目標で、推進員の活動を通して実践、経験が積めることはとても大きな糧になっています。

5. 地球温暖化について思うことは?

地球温暖化の原因は様々で私たちが生活するうえで地球温暖化の原因となるものを全て取り除く事はできません。しかし、1人1人の小さな努力が地球温暖化防止に繋がることを改めて感じました。それは大人だけではなく子どもにもできることであり、ごみの分別、給食を残さず食べるなど生活のあらゆる面で地球温暖化防止に繋がるがたくさんあります。子どもたちと接する中でそういったことも伝えていけると良いと思いました。

6. これからの展望は?

高校や大学、地域と親密に連携して環境に関するイベントを増やし、ボランティア活動の楽しさを伝えることで、若い世代の推進員を育成、ボランティア活動の活発化など、地域・地球にとって、より環境に良い地域づくりができると思います。

7. 最後に一言

今のところ、最年少の推進員として活動していますが、今後は若い世代の推進員も増やして先輩の推進員の皆様の活動支え、若い世代独自の企画などもしていきたいと思っています。



環境取組紹介 コーナー

知っておきたい 「カーボン・オフセット認証ラベル」

カーボン・オフセット認証ラベルは、カーボン・オフセット制度の下、個別のカーボン・オフセットの取組が、環境省のカーボン・オフセット第三者認証基準に基づいて認証された案件に付与されるものです。

信頼性の高いカーボン・オフセットの取組の普及を図り、国民および事業者等による温室効果ガス排出量の認識および一層の削減努力を促進することを目的としています。

2012年より運営が開始されたカーボン・オフセット認証ラベルは、現在、「商品・サービスの製造・使用等」で30件、「会議・イベントの開催」で13件、「自己活動」で9件、「消費者の日常生活等」で12件となっています。

最近では、駅伝大会の運営、工事現場で使う資材、ビジネス用封筒などの商品が認証されています。

皆さんもイベントへ参加したり、色々な商品などで、このラベルを探してみたいはいかがでしょうか。案外身近なところで発見できるかもしれませんね。



カ ー ボ ン ・ オ フ セ ット と は ?

カーボン・オフセットとは、市民、企業、NPO/NGO、自治体、政府等の社会の構成員が、自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分の排出量について、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量等を購入すること又は他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実施すること等により、その排出量の全部又は一部を埋め合わせることで、すなわち『知って、減らして、オフセット』の取組をいいます。（「我が国におけるカーボン・オフセットのあり方について（指針）第3版」より）

* トピックス *

広島で「G7広島サミット」開催

2023年5月19日から21日までの3日間、広島で「G7広島サミット」が開催されました。サミットの席上、気候変動については、ウクライナ、核軍縮、世界経済等とともに国際社会における重要な課題として議論され、G7首脳による個別声明として「G7クリーン・エネルギー経済行動計画」が発出されました。

この計画では、「我々G7首脳は、気候危機に対処し、遅くとも2050年までにネット・ゼロ排出を達成するために、世界のクリーン・エネルギーへの移行を加速させるべく行動し、協力を深化させている。我々は、パリ協定への揺るぎないコミットメントを再確認する。」としています。

G7サミットに併せて、4月から12月にかけて日本各地で15の関係閣僚会合が開かれ、各分野の重要課題について議論されます。



「G7三重・伊勢志摩交通大臣会合」が開催される

G7交通大臣会合とは、主要国首脳会議(サミット)と併せて開催され、G7交通担当大臣とEUの交通担当委員が一堂に会し、今後の交通、ひいては社会全体を左右する重要なテーマを取り上げ、大きな方向性を話し合う会合です。

2023年6月16日から18日までの3日間、志摩市で開催された会合では、「イノベーションによる誰もがアクセス可能で持続可能な交通の実現」をテーマにG7(日本、カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、英国、米国、EU)による議論が行われました。また、招待国としてウクライナ、国際機関として、国際交通フォーラム、世界経済フォーラムが一部プログラムに参加しました。

「イノベーションによる誰もがアクセス可能な交通の実現」については、あらゆる人々が公平で安全かつ円滑な移動を確保することがG7各国の共通の課題である中、各国における課題や関連施策を共有するとともに、地域における公共交通のあり方や、イノベーションや交通インフラ投資が果たす役割等について議論が行われました。

「イノベーションによる持続可能な交通の実現」については、パリ協定の目標を踏まえ、交通部門における温室効果ガスの排出削減に取り組む必要があり、また、近年の頻発化・激甚化している災害を踏まえ、気候変動への対応や、交通インフラ及びサービスにおける強靱性の確保に向け取り組む必要がある中、各国における課題や関連施策を共有するとともに、イノベーションや交通インフラ投資が果たす役割、国際機関との協働等について議論が行われました。

今回の会合での議論を踏まえ、G7交通大臣宣言が採択されました。



県内環境フェア紹介

令和5年(2023年)度 県内の環境関連イベントの紹介

今年度に予定されている環境関連イベントです。
皆さんも是非足をはこんでみてはいかがでしょうか。

みえ環境フェア2023

未来のために今、私たちができること

開催日時 2023年12月10日(日) 10:00~15:00

開催場所 **メッセウイング・みえ**
(津市北河路町19-1)

主催者 一般財団法人三重県環境保全事業団
三重県地球温暖化防止活動推進センター

地球温暖化防止に資する省エネ・省資源活動、環境保全活動の取組又は研究成果の展示、環境問題に関心を深めてもらえる工作、風力・太陽光発電パネル等の模型展示、電気自動車、省エネ住宅等の展示などを行います。



四日市市環境フェア

来て、学んで、見つけよう!
四日市のエコのタネ!

開催日時 2023年12月2日(土) 10:00~15:30

開催場所 **じばさん**(四日市市地場産業振興センター) 6階

主催者 四日市市

三泗地区の小中学生を対象に募集を行う、公害・環境に関する研究作品展の表彰式・研究発表会などを行います。



つ・環境フェスタ2023

今やろう 脱炭素 -子どもたちの未来のために-

開催日時 2023年10月21日(土) 10:00~15:00

開催場所 メッセウイング・みえ (津市北河路町19-1)

主催者 環境フェスタ実行委員会
津市

展示コーナー、体験コーナーや地産地消コーナーをはじめとする「見て」、「ふれて」、「食べて」、体験し環境を学べるイベントです。



第15回まつさが環境フェアinベルファーム

脱炭素社会の実現に向けて
わたしたちができること

開催日時 2023年10月28日(土) 10:00~16:00

開催場所 松阪農業公園ベルファーム

主催者 松阪市環境パートナーシップ会議

市民団体や企業などによる展示や体験ブースとなっており、マイバッグの作成や間伐材を使った箸づくりなどの体験ができます。



伊勢市環境フェア

みんなで脱炭素社会をめざそう!

開催日時 2023年10月9日(月・祝) 10:00~15:00

開催場所 三重県営サンアリーナ

主催者 伊勢市
伊勢市環境会議

伊勢市・市民団体・企業等による展示・体験ブース、電気自動車展示、フリーマーケット、ポスターコンクール作品展示などを行います。





事業者向け

令和5年度 三重県太陽光発電設備等設置費補助金 についてお知らせ

三重県では、環境省の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）」を活用し、太陽光発電設備及び蓄電池を設置する県内の事業者に対して、補助金を交付することで、自家消費型太陽光発電設備の導入促進を図っています。

応募期間 令和5年8月9日から11月6日まで
お問合せ **TEL 059-245-7517**
(三重県地球温暖化防止活動推進センター)

表紙の説明

令和4年度「三重県地球温暖化防止啓発ポスターコンクール」入賞者一覧

小学生の部 ※敬称略

〈最優秀賞〉:上段左

津市立養正小学校 3年生 河石 夏歩 (かわいし かほ)

〈優秀賞〉:中段左から

四日市市立桜台小学校 3年生 大藪 とあ (おおやぶ とあ)

志摩市立鶴方小学校 5年生 山本 颯汰 (やまもと そうた)

〈佳作〉:下段左から

朝日町立朝日小学校 1年生 本間 日菜 (ほんま ひな)

四日市市立川島小学校 1年生 矢田 修一 (やだしゅういち)

伊賀市立上野西小学校 2年生 天野 築来 (あまの ぎずく)

津市立桃園小学校 4年生 須内 彩季乃 (すのうち あきの)

四日市市立泊山小学校 4年生 永井 佐蔵 (ながい さくら)

中学生の部 ※敬称略

〈最優秀賞〉:上段右

津市立久居東中学校 3年生 青木 天吾 (あおき てんご)

〈優秀賞〉:中段右から

松阪市立久保中学校 1年生 奥村 芽依 (おくむら めい)

鈴鹿市立白鳥中学校 1年生 田中 空 (たなか そら)

〈佳作〉:下段右から

松阪市立久保中学校 2年生 今井 紅 (いまい こう)

名張市立南中学校 2年生 濱田 瑞希 (はまだ みずき)

桑名市立多度中学校 3年生 小西 晴之 (こにし はるゆき)

朝日町立朝日中学校 3年生 福嶋 佐和子 (ふくしま さわこ)

朝日町立朝日中学校 3年生 森谷 太智 (もりたに たいち)